

子どもを守るために・・・

市教育委員会では、児童生徒の皆さんの安全確保のために、さまざまな防犯活動を実施しています。

また、インターネットを活用した、不審者などの情報提供について現在検討が進んでいます。



ふれあい安全サポーターによる
登下校時の安全確保風景



市少年補導センターの皆さんによる
放課後の補導活動風景

児童生徒が犯罪に巻き込まれる事件が全国で発生していますが、市教育委員会としても学校、保護者、地域の皆さんと連携してこうした犯罪が起こらないよう活動を行っています。

具体的には、「ふれあい安全サポーター」を、平成16年度より市内の各学校に一人ずつ配置して、児童生徒の登下校時の安全確保や授業中の校舎周辺を巡回することによる不審者の監視などを行っています。

また、校外における防犯対策としては、昨年11月の広島県の児童殺害事件以降、低学年児童の下校時の安全を確保するために、「市少年補導センター」の定期補導時間を午後3時から2時に繰り上げ、補導活動を行っています。

学校や市民の皆さんから寄せられた「不審者や変質者に関する情報」は、今年度だけで30件ほどあります。

こうした情報につきましては、市内の各学校や加茂警察署などの関係機関と連絡を取り情報の共有を行っています。

現在、市内の学校間ネットワーク「逍遙ネット」などで行っています「不審者・不審電話情報」のインターネットを利用したメール配信を、今後は希望される保護者に配信できないか、検討しています。

この仕組みは、保護者の皆さんや関係機関が、不審者などに関する情報をリアルタイムで共有できる利点があり、犯罪防止に大きく貢献すると思われるが、被害者保護や運用面などのクリアすべき課題について、関係機関と協議しています。

いずれにせよ、児童生徒が安心して学校に通うには、保護者や地域の皆さんのご協力が、不可欠だと思います。



子どもたちが安全で、安心して暮らせる町にするために、PTAの取り組みと対策について市連合PTA会長の加藤敦司さんに伺いました。

市連合PTA会長 加藤 敦司さん



子どもの安全について語る
市連合PTA会長加藤 敦司さん

以前、市連合PTAの会議で、不審者問題について話題になったことは、保護者の皆さんが、一様に不安を持ってみえ、まずは、不審者について、そして事件の内容についての情報が早く欲しいということでした。

ただ、個人情報問題も絡み、難しい問題があります。先月警察に出向き、リアルタイムで流していただけのお願いをしました。また、学校によっては、携帯のメールで知らせるようなネットワークもできています。

そのほかに、「パトロール中」というステッカーを車に張って走ったり、地域で安全ネットワークを作ったりと、市内の学校でさまざまな不審者対策を講じているようです。市連合PTAでは、こうした情報を交換して防犯対策の参考にしています。

次に、子どもを守るために必要なことは、まず、自分のことは自分で守るという意識改革だと思います。

通学路から外れない。暗い所へは行かない。そして、いざというときのために、家庭や学校で防犯訓練をしなければならぬと思います。

警察には、パトロールの強化をお願いしましたが、当然限界があります。そこで、各校でハザードマップ（地域安全マップ）を作り、危険な所を重点的にパトロールしていただくよう提示するとともに、現在各学校ごとで実施している防犯パトロールをネットワーク化し、より強力な組織づくりが大切だと思います。

私自身は、青色回転灯を備えパトロールするのが、より犯罪の抑止力があると思います。警察にも相談しましたが、これには、さまざまな制約があり、現状では難しいようです。

いずれにせよ、学校、保護者、地域が三位一体となり、防犯活動に取り組まなければ、子どもを犯罪から守ることは困難だと思います。

子どもも親も危険と隣り合わせだという意識を常に持っていたべくとも、家族の人が買い物などで外出するときは、子どもの帰宅時間に合せて、通学路を通るなどの工夫も必要です。

ぜひ、皆さんにご協力いただき、子どもたちが暮らしやすい安全な町ができればと思います。

外出するときは・・・



家族に、どこへ、何をするのか、また、何時に帰ってくるのかを伝えよう。急いでいる時でも、家族に言うから出掛けよう。

一人にならないよう、気を付けよう



公園で一人で遊んだり、人がいない場所に一人で行ったり、人がいない道を歩かないように心掛けよう。

知らない人に声を掛けられたら・・・



「どこかに行こう」と言われても、絶対についていけない。知っている人でも、「家の人に聞いてから」と言う。

ちょっとした心掛けが、子どもを犯罪から守ります

子どもは、遊びや友達との約束になると夢中になってしまいます。

普段から、不審者などからの声掛けには気を付けるよう家族で話すことが大切です。